一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		ホームページ運用事業	事業コート゛	1465			
+D -W	所属名	市長公室 広聴広報課			担当係名		
担当課等	課長名 市長公室	市長公室 広聴広報課	担当者名	市長公	室 広聴広報課	電話番号	2624

1. 事務事業の基本情報

	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード	施策	市民とともにつくる行政の実現	コード				
			8			3				
総合計画体系	基本事業	分かりやすい行政情報の提供	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 2款 1項 2目 市政広報活動事業((005–01)				
	特記事項 総合計画主要事業									
事業期間	○ 単年度	○ 単年度 ● 単年度繰返 ○ 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 平成8年度~)								
事務事業の概要	盛岡市の公式ウェブサイト「ウェブもりおか」による新規の市政情報提供と掲載情報の更新を行う									
根拠法令等	なし									
この事務事業を開	この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)									
インターネットの普及に伴い,ホームページから市政情報を発信できるようになったことによる										
この事務事業に対して関係者(市民, 議会, 事業対象者, 利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか										
掲載情報の迅速性や内容の充実、見やすいページ作成などへの要望がある										
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか										

情報通信技術の伸展により,紙や電子媒体を融合した広報活動が求められている。また,新たな電子媒体が次々と誕生していく中で,効果的な媒体活用の対応が求められている

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象 としているのか)	小学生以上の市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを 示す指標)	A. 盛岡市の人口 B. C.	単位 単位 単位	
③手段 (事務事業の内容, やり方, 手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・アクセシビリティに配慮したページへの改修 ・パナー広告の導入 ・中核市移行に伴うコンテンツ整備 ・音声読み上げサービスの更新 ・各課等への支援、指導 ※アクセシビリティ=高齢者や障害者、心身の既往に制約がある人でも問題なく利用できること。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ・22年度と同様のほかウェブサーバー更新に伴うホームページリニューアルと新たなシステムの導入	⇒	④活動指標 (事務事業の活動 量を示す指標)	A. HP更新·追加ファイル数	位 単位 単位	
⑤意図 (この事業により 対象をどのように 変えるのか)	ホームページで市政の情報がいつでも誰もが入手でき るようにする。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を 示す指標)	A. トップページのビューカウント(月平均) 【指標の性格:● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 B. miniもりおかトップページのビューカウント(月平均) 【指標の性格:● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 C. 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		,
⑦結果 (上位基本事業 の意図:上位の 基本事業に位の ように貢献する か)	行政が保有している情報を分かりやすく市民に提供する	⇒	⑧上位成果 指標 (上位基本事業の 成果指標)	開示請求及び情報提供件数(ホームページ新着情報件数含む)(.	単位	:件)

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	盛岡市の人口	7	297,592	297,267	297,267	298148	298148		年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	HP更新・追加ファイル数	ページ	19,139	9,422	12,000	20147	20000		年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	トップページのビューカウント(月平均)	カウント	113,588	115,463	120,000	114018	120000		年度
成果 指標B	miniもりおかトップページのビューカウント(月平均)	カウント	4,215	4,262	5,000	7445	8000		年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	****
事業費	A	千円							****
財源	4a	千円							****
内訳	⑤県	千円							****
	⑥地方債	千円							****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	****
	⑧その他	千円							****
	合 計(④~8) (=A)	千円							****
延べ業務時間数			1,500	1,500	1,600	1,700	1,750		****
職員人件費 (B) (臨時職員賃金は, 事務費に含む)			6,000	6,000	6,400	6,800	7,000	0	****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	6,000	6,000	6,400	6,800	7,000	0	****

3. 事務事業の評価(See)

	①施策体系との整合性								
必要性評価	この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか?								
性評		理由:市政情報を積極的に提供することで,市政への理解が深まり,市民参画が促進される							
価	②公共関与の妥当性	□ 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ							
	市がやるべき事業ですか? 税金を使って達成する目的ですか?	● 妥当である							
		□「妥当」とする理由: 法定事務である 内部管理事務である ● その他							
		理由:市政情報を提供することは市の責務である							
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか? 広げら れませんか? また絞らなくてよいですか?								
		□「妥当」とする理由: ○ 法定事務である ○ 内部管理事務である ○ その他							
		理由: 広報活動の主対象は盛岡市民であるが、ホームページの性質上からも県内・国内・全世界への拡大余地がある							
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりし て、成果向上できませんか?	拡大または絞ることができる⇒ 4. 事務事業の改革案へ動 現状で妥当である							
		 理由:ホームページはいつでも閲覧できる性質をもっており.より多くの人が市政情報を得るために役立つ							
		● 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ							
有効性評価	成果がもっと向上する余地はありますか?	向上余地がない							
評価		その内容: 市政情報を適宜・適切に発信する職員の意識向上が必要。新たなシステムの導入という機会を捉えた 研修等が求められる							
	⑥廃止・休止の影響	○ 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ							
	事業を廃止・休止した場合,施策の成果に及ぼす影響はありますか?	●影響がある							
		その内容:広報紙と並ぶ市の自主広報媒体であり,廃止の際の影響は計り知れない							
	⑦類似事務事業との関係	●類似事業がある							
	類似の事務事業(国, 県, 市の内部, 民間)はありませんか?	□○ 類似事業がない							
		事業名:国・県・民間のポータルサイト							
		※類似事業がある場合,その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか?							
		統廃合・連携検討 ○ できる → 4. 事務事業の改革案へ ○ できない							
		■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □							
効	⑧事業費の削減余地	○ 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ							
率性評	成果を下げずに事業費を節減できる余地はありませ んか?	●削減できない							
評価	70%	└────────────────────────────────────							
"	⑨人件費の削減余地	● 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ							
	成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減す る余地はありますか?	削減できない							
		「 その内容:管理担当者の技術向上による人件費削減は可能。各課においても新システム導入により専門的な技術 を要しない情報発信が期待される							
公亚	⑩受益機会の適正化余地	○ 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ							
公平性評	受益機会の適正化余地はありますか?	● 公平・公正である							
評価		○ 特定の受益者はいない 							
	①弗田各中の第三ル会地	理由:ホームページは誰でも閲覧することが可能							
	①費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか?	□ 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ							
	The second secon	▼ 公平・公正である ○ 特定の受益者はいない							
		理由:市政情報を提供することは市の責務であることから,受益者負担はなじまない							

4. 事務事業の改革案(Plan)

5. 課長意見

	(1)一次評価者	としての評価結	果		(2)全体総括(振り返り, 反省点)			
一次評価	① 必要性:	● 妥当	○ 見直し余地あり		ホームページは、広報紙とともに重要な市の広報媒体であり、対象者は一部に限られるものの、即時性などにおいて広報紙より有利			
 	② 有効性 :	○ 妥当	● 見直し余地あり	"┪	な面を有している。もっと情報保有課の積極的な情報提供の姿勢があっていい。			
	③ 効率性 :	○ 妥当	● 見直し余地あり					
	④ 公平性 :	● 妥当	○ 見直し余地あり					
	(3)今後の事務の方向性(改革改善案)							
今後	□終了⊠継	続 —	→ 現状維持(従来通りで特に	改革改				
	□ 廃止 □ 休	止	○ 改革改善を行う					
自向			■事業統廃合・連携					
性								
改								
の方向性と改革改善案								
善	++///							
柔	方向付けの理由と改革改善の内容							
	各課でホ-	-ムページの情報	報管理ができるシステムを導入するこ	とにより	, 各課の情報発信意識が向上することが期待できる。			